

硫黄島

昭和硫黄島

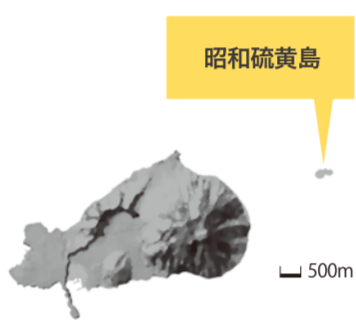
一九三四年九月、翌四月まで約半年の噴火活動で形成された火山島。昭和最大規模の噴火とされる。はじめ九月十二日から地震が続き二〇日の噴火後に治まる。海底噴火で、硫黄島と竹島の間、水深約三〇〇mでおきた。十一月、付近は硫黄臭がして白煙が海上二面に昇っていたという。【右上写真】また大きくて五m程の軽石が、流水の様に四方に浮いていた。十二月七日には島が出現。三百までに火口丘が成長して高さ二〇〇〜三〇〇mに至る。しかし二五、三〇日に一度消滅。翌年の一月五日に再度出現。安定して今の姿になる。

【一九三四年の日本】 溥儀（ふぎ）が満州国皇帝に、国際連盟で満州国について非難された日本は前年に連盟を脱退。

思い出話

「九月二〇日本島の東海中噴火す。…区民…夕刻より城之原高原に避難」

硫黄島小学校
校長日誌より抜粋



12

日	月	火	水	木	金	土
1 旧 11/5	2 旧 11/6	3 旧 11/7	4 旧 11/8 ●上弦	5 旧 11/9	6 旧 11/10	7 旧 11/11 1934年12月7日に昭和硫黄島が出現。23日までに火口丘が高さ20mから30mに成長。
8 旧 11/12	9 旧 11/13	10 旧 11/14	11 旧 11/15	12 旧 11/16 ○満月	13 旧 11/17	14 旧 11/18
15 旧 11/19	16 旧 11/20	17 旧 11/21	18 旧 11/22	19 旧 11/23 ●下弦	20 旧 11/24	21 旧 11/25
22 旧 11/26	23 旧 11/27 平成天皇の誕生日	24 旧 11/28	25 旧 11/29 12月7日から出現した火口丘は25〜30日に一度消滅。翌年の1月5日に再出現して現在の姿となる。	26 旧 12/1 ●新月	27 旧 12/2	28 旧 12/3
29 旧 12/4	30 旧 12/5	31 旧 12/6	1	2	3	4